

No.					市立甲府病院 機能仕様書
Lv1	Lv2	Lv3	Lv4	Lv5	要件項目
25	1				全般仕様
25	1	1			本システムは、インシデントレポート作成、レポートと連動したインシデント集計・分析、インシデント事例詳細分析支援について、以下の機能を有すること。
25	1	2			システムへのログインはユーザIDとパスワードにより行うこと。
25	1	3			厚生労働省（医療機能評価機構）のヒヤリ・ハット収集事業に準拠した項目を、入力項目として用意していること。
25	1	4			本システムは、当院が導入している電子カルテ端末に相乗りできること。
25	1	5			既存のインシデント管理システムのレポート、統計データを移行できること。
25	2				インシデントレポート作成
25	2	1			基本事項
25	2	1	1		システムの運用の基本構造は、報告者、各部署RM、医療安全管理者（GRM）の3層構造となっており、各部署RMとGRMには参照権限設定も可能であること。
25	2	2			インシデントレポート作成・報告機能
25	2	2	1		厚生労働省（医療機能評価機構）のヒヤリ・ハット収集事業のフォーマットに準拠した形式でのインシデントレポート作成ができること。
25	2	2	2		以下の入力項目を有し、且つ発生日・報告日等で管理できること。 発生日時、発生場所、事故レベル、報告者情報（報告者名・部署）、当事者情報（氏名・職種・経験年数・部署配属経験年数・勤務状況等）、患者情報（ID・年齢・性別・疾患名・診療科等）
25	2	2	3		インシデント事象を分析する為に、有効となる経過情報を時系列に入力できること。
25	2	2	4		インシデントレポートの一時保存ができ、複数回に分けてレポート作成ができること。
25	2	2	5		印刷機能を有すること。
25	2	2	6		病院内での情報収集の流れにおいて、「報告」「差し戻し」「再報告」「承認」等の一連の運用業務フローがシステム上でシームレスに操作できること。
25	2	2	7		報告者が作成しているレポート一覧画面が表示できること。
25	2	2	8		入力項目の必須・任意について設定できること。
25	2	3			インシデントレポート管理
25	2	3	1		報告された情報はリアルタイムで一覧表示画面に表示できること。
25	2	3	2		一覧表示画面で、何が発生しているか確認できること。「いつ」「どこで」「何を」について確認できること。
25	2	3	3		報告されたレポート内容が1画面にて容易に確認（表示）できること。
25	2	3	4		インシデント情報の一覧表示機能を持ち、報告されたレポートを絞り込んで表示できること。
25	2	3	5		必要な頁単位で出力を制御できる詳細印刷機能を有すること。
25	2	3	6		確定（承認）したインシデントレポートは修正できないこと。
25	2	3	7		GRMが承認したインシデントレポートは、報告者が匿名化できる機能を有すること。
25	2	3	8		インシデントレポートを報告者へ差し戻しできること。その際、報告者へのコメント入力ができること。
25	2	3	9		職員への情報通知等の簡易な掲示板機能等を有すること。また、掲示板へのファイル添付ができること。
25	2	3	10		「報告者」「管理者」間で情報（コメント）交換等ができる機能を有すること。
25	2	3	11		集計データは市販のソフトウェア（Excel等）へファイル出力できること。
25	2	3	12		事故発生状況等を撮影した画像ファイル（JPEG・BMP等）等をレポートへ添付保存できること。
25	2	3	13		入力項目の必須・任意について設定できること。
25	2	3	14		一覧画面に表示される項目は、項目（列）単位で並び替え（昇順・降順）ができること。
25	2	3	15		各部署RM、GRMの一覧画面では、レポートの未読・既読が管理できること。
25	2	3	16		集計されたレポートに対して、「発生期間」「報告期間」等の期間や、「レベル」「発生場所」等の項目を対象条件に設定した検索機能を有すること。
25	2	3	17		集計されたレポートに対して、「発生期間」「報告期間」等の期間や、「レベル」「発生場所」等の項目を対象条件に設定したグラフ作成機能を有すること。
25	2	3	18		グラフ化された数値から対象となるレポートの一覧画面へ遷移でき、且つレポート内容を表示できること。
25	2	3	19		医療事故調査制度における事故発生時の届け出、院内調査における事例分析、院内調査終了時調査報告書の作成等における項目や医療事故調査制度に必要な項目について入出力対応していること
25	2	3	20		医療安全管理者（GRM）権限の利用者の場合、報告書管理画面にて、複数の同一事象報告書を1報告書として統合することができること。
25	2	3	21		医療安全管理者（GRM）権限の利用者の場合、報告書管理画面にて、対象報告書を指定し、一括で印刷をおこなうことができること。
25	2	3	22		医療安全管理者（GRM）権限の利用者の場合、報告書管理画面にて、対象報告書を指定し、一括で削除することができること。
25	2	3	23		医療安全管理者（GRM）権限の利用者の場合、報告書管理画面にて、対象報告書を年間で指定し、一括で削除できること。
25	2	3	24		報告書の集計は発生件数、および報告件数の集計ができること。
25	2	3	25		報告書を集計した結果より特定の項目を指定し、対象データに対し縦軸・横軸を指定して詳細の集計ができること。（ドリルダウン）
25	3				改善計画管理
25	3	1			報告されたレポートに対して、各部署RMで改善計画書が作成できること。
25	3	2			抽出されたデータの項目に対して、重複行をグルーピングする機能を有すること。
25	3	3			GRMは改善計画一覧画面で、院内の実施状況が把握できること。
25	3	4			改善計画一覧画面から入力データをExcelファイル形式で出力できること。
25	3	5			印刷機能を有すること。
25	4				システムマスタ管理
25	4	1			管理者のアカウント・パスワードは、システム画面内から容易にメンテナンスできること。
25	4	2			閲覧権限設定は、稼働後に柔軟に変更でき、院内管理者により編集できること。
25	4	3			入力項目の必須・任意について設定できること。
25	5				インシデント事例分析支援
25	5	1			事例分析支援ツール
25	5	1	1		事例分析支援ツールは、医療事故分析手法「ImSAFER」と「VA-RCA」の両方による事例分析ができ、時系列事象関連図、背後要因関連図、対策評価表、P-mSHELLモデル等が使用できること。
25	5	2			インシデント事例分析支援システム
25	5	2	1		インシデント事例分析支援システムは、全ての端末で使用できること。
25	5	2	2		インシデントレポート作成時に入力された経過情報が、時系列分析データとして連携されること。
25	5	2	3		時系列分析した結果が、視覚的に分かり易く画面上に表示できること。
25	5	2	4		時系列分析した情報が蓄積され、一覧表示でき、且つ他の事例分析に活用できること。
25	5	3			時系列事象関連図
25	5	3	1		時系列事象関連図の基本的な標記が全て表現できること。
25	5	3	2		時系列事象関連図は、縦方向（上から下へ）で時系列情報が入力できること。
25	5	3	3		事象を結ぶ矢印が、縦方向に一括で入力できること。

25	5	3	4		容易な操作で矢印を任意に追加できること。
25	5	3	5		縦列をまとめて横方向に移動でき、且つ矢印の連結がそのまま維持されること。
25	5	3	6		レポートに記述された事例内容は、容易な操作で時系列事象関連図に変換できること。
25	5	3	7		画面上に入力された情報は、マウスのドラッグ操作で容易に移動できること。
25	5	3	8		時系列事象関連図の印刷機能を有すること。
25	5	3	9		VA-RCA分析時の出来事流れ図は、事例概要から自動で作図できること。
25	5	4			背後要因関連図
25	5	4	1		背後要因関連図は、時系列事象関連図とデータが連携していること。
25	5	4	2		背後要因関連図では、「問題点」「背後要因」「対策案」が色分けされ、階層構造で表示できること。
25	5	4	3		背後要因関連図では、背後要因が20階層まで入力できること。
25	5	4	4		背後要因関連図の印刷機能を有すること。
25	5	4	5		背後要因入力を支援する為の、背後要因/パターンがテンプレート化され、複数パターン登録されていること。また、追加できること。
25	5	4	6		過去に入力された背後要因情報が参照でき、分析しているデータに取り込めること。
25	5	4	7		VA-RCA分析時は、「質問」と「回答」欄があり、それぞれ自由に内容を書き換えられること。
25	5	5			対策評価・管理
25	5	5	1		入力された対策が対策評価表として一覧画面で表示できること。
25	5	5	2		対策を評価する為の判断基準（コスト・効果等）が設定できること。
25	5	5	3		判断基準に対して、評価結果（○・△等）を入力できること。また、評価結果の合計点数が算出・表示できること。
25	5	5	4		対策評価・管理の印刷機能を有すること。
25	6				安全管理機能
25	6	1			電子掲示板機能
25	6	1	1		医療安全管理者（GRM）が自由に書き込めること。
25	6	1	2		内容は利用者全員が閲覧できること。
25	6	1	3		動画を含めたバイナリデータを添付できること。
25	6	2			利用者マニュアル
25	6	2	1		利用者マニュアルを添付すること。ダウンロードして参照利用できること。
25	6	3			院内情報周知機能
25	6	3	1		医療安全管理者（GRM）がアップロードしたバイナリデータに対しての参照状況について、院内全体、部種別、個人別に把握できること。
25	6	3	2		参照履歴はExcelファイル形式で出力できること。
25	6	4			任意テーマ報告機能
25	6	4	1		日常業務における「気づき」や「業務改善」等の情報は、各利用者から医療安全管理者（GRM）へ情報提供できること。
25	6	4	2		提供された情報に対して医療安全管理者（GRM）から利用者へフィードバックできること。
25	6	4	3		一覧画面から入力データをExcelファイル形式で出力できること。
25	6	5			レポート公開機能
25	6	5	1		報告されたレポートは、管理者の判断で院内全員が閲覧可能な状態で公開できること。
25	7				教育訓練
25	7	1			操作マニュアル等は日本語版を提供すること。
25	7	2			個別インシデント事象の分析作業訓練は、ヒューマンエラーの解説やI m S A F E Rによる分析手順の習得を含めたグループワークを伴う院内研修をサポートできること。